

カツオ

学名 *Katuwonus pelamis*

英名 Skipjack tuna

- 展示場所：黒潮大水槽
- 対象：小学校・中学校
- 教科：社会・理科
- 学年：5年上・2分野
- 出版社：東京書籍
- 大きさ：1.2m
- 分布：全世界の熱帯から温帯海域に広く分布



特徴

体形は典型的な紡錘形をしており、眼の後方部、胸甲(きょうこう)及び側線付近以外には鱗がありません。

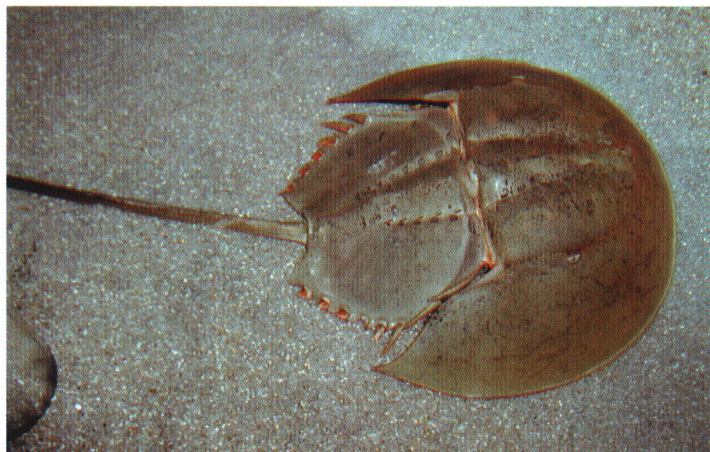
強い遊泳力を持ち、一夜で130~185 kmも移動します。水温17~30℃のきれいな水を好み、群れをなしています。甲殻類、オキアミ類、イカ類などを食べます。日本の太平洋側では春から夏にかけて北上し(上りカツオ)、秋には南下します(下りカツオ)。日本人に特に好まれる食用魚で、タタキ、刺身などの他、加工されて鰹節となります。主に一本釣りで捕獲されます。

カブトガニ

学名 *Tachypleus tridentatus*

英名 Horseshoe crab

- 展示場所：海・生命の進化
- 対象：小学校
- 教科：国語
- 学年：5年上
- 出版社：光村
- 大きさ：60cm
- 分布：東南アジア~日本沿岸海域



特徴

カブトガニの体は、前体と後体に分かれ、蝶番式につながっています。眼は、甲羅の背面、両脇に1対の複眼、中央に1対の単眼、腹面に1個の複眼、計5個の眼を持っています。脚は、鋏脚と5対の歩脚があります。

繁殖期は、日本では7月から9月です。早くからメスの後ろにオスがつながるような形で行動を共にし、夜間、潮間帯でメスが砂の中に200~300個の卵を産み付けると、すぐに後ろのオスが精子をかけます。卵は数ヶ月で孵化しますが、孵化したばかりの幼生が三葉虫に似ていることから、三葉虫型幼生と呼ばれています。

カブトガニは「生きた化石」と呼ばれるように、その化石がデボン紀(3億5千万~44億年前)の地層から発見されています。